a whaling ship
ほげい船

基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院となることを目指します。

独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●大串文隆／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

新年度を迎えて
～新たな旅立ち～

NHO高知病院　院長
大串　文隆

今年も新しい仲間を迎え平成28年度がスタートしました。この季節は人事異動があり、一緒に仕事をしていたメンバーが去り寂しい時期ではありますが、逆に新しいメンバーに入れ替わり病院に活気がでてくる時期でもあります。国立病院機構は中国四国の病院間で人事交流が行われており年度初めは職員の入れ替わりが恒例となっています。このような人事の異動は一長一短ですが、人材の入れ替わりにより職場のマンネリ化を防ぐ意味は大きいように思います。昨年度は旧の高知病院時代から勤務していました副院長の篠原一仁先生が定年を迎え退職となり大きな区切りの年度となりました。事務部長も定年退職となり、平成28年度は高知病院の「新たな旅立ち」となる重要な年度になりました。後任の副院長には徳島大学呼吸器外科科長の先山正二先生、整形外科の後任として徳島大学准教授の福田昇司先生が赴任されました。また、婦人科科長の木下宏実先生も医療センターから転任してこられました。これらの先生方以外にも中堅の先生が多く赴任してこられ、また、事務方はじめ、他部門の職員も大きく変わり再出発の環境は充実してきています。今年度、診療報酬改定が行われましたが、医療費高騰により病院を取り巻く環境は良くなることは期待できない状況ですし、次回の改定は更に厳しくなってくることが想定されています。このような時病院を継続して行くには全ての職員が知恵を出し合いどのような悪い状況にも対応できるように病院を強化していくことが重要です。高知病院の目標は「地域に信頼される病院になる」ことです。実現のためには医療の質、チーム医療、地域貢献、人材育成、臨床研究などの重要な課題を解決していくことが不可避です。医療の質を高めるためには「根拠に基づいた医療」を実践せねばなりませんし、全職員の専門性を結集し全人的医療を行うことでチーム医療の遂行が可能となります。さらに、地域住民の医療・介護・保健・福祉に貢献するために、相互に機能分担・連携できるシステムを構築せねばなりません。また、次世代の医療を担う人材育成は重要で教育そのものの質を高める必要があります。国立病院機構では臨床研究に重点をおいており当院でも医療の発展に寄与するため、現場に根ざした研究を進めていかねばなりません。しかし、これらを実現し継続するためには健全な経営が最も重要な課題となります。今年度は非公務員化、中期目標管理法人になり2年目に入りますが今最も重要なのは職員の意識改革ではないでしょうか。「ワイガヤ」と言う言葉を聞いたことがあるかと思います。これは立場にかかわらず同じ組織に属する者たちが気軽に「ワイワイガヤガヤ」と話し合うことで本田技研工業が提唱した言葉です。「ワイガヤ」が単なる時間の浪費か仕事の発展に役立つか多くの意見がありますが組織内で意見を出し合うことは重要なことと思います。指示待ちの受け身の姿勢で勤務するのではなく職員一人一人がどのようにすれば病院目標に近づけるかを考え意見をだしあって、問題を抽出し解決のために実践していくことで病院は変わってくるのではないでしょうか。皆さんと力を合わせてこの難局を乗り切っていきましょう。

新幹部職員紹介

副院長　先山　正二

このたび4月1日付けをもって副院長を拝命致しました先山　正二（さきやま　しょうじ）と申します。これまで徳島大学大学院准教授（胸部内分泌腫瘍外科）、徳島大学病院教授（呼吸器外科）として主に呼吸器外科の臨床、教育、研究に携わってきました。

私の生まれは徳島ですが、以前若かりし駆け出しの医者として、高知で2年間お世話になったことがあります。昭和62年から平成元年に高知市民病院（当時）で外科医としての基礎を学ばせていただきました。従いまして、約30年ぶりの高知勤務ということで個人的には感慨深いものがありますし、今後はこれまでの医師としての経験を生かして、高知（“高知家”）の医療のお役に立ちたいと決意を新たに致しております。

趣味はこれといったものはありませんが、強いてあげれば読書と料理でしょうか。司馬遼太郎は好きな作家の1人ですが、先生は、日本人の倫理観に鎌倉武士以来の“名こそ惜しけれ”というものがあり、西洋とも、この一言で対等に渡り合えると言っています。先生の歴史的視点からは、その鎌倉武士形成に通じる原型の一端を棚田で有名な高知の梼原に見ることができるそうですので、私も高知の歴史、風土をじっくりと見つめていきたいと思います。

それではこれからよろしくお願い申し上げます。

事務部長　山田　茂晴

4月1日付で事務部長として赴任いたしました山田　茂晴（やまだ　しげはる）と申します。

高知病院には、平成12年10月の統合新病院開院の直前に、当時の四国地方医務支局から業務支援という形で準備作業に携わさせていただきました。短期間ではありましたが、慌ただしかった日々が懐かしく思い出されます。その思い出のある病院に15年半の時を経て、勤務することとなり感慨深いものがあります。

さて、高知病院は昨年、基本理念に「地域に信頼される病院」という言葉を入れました。これは、当初からの基本理念を継承しつつ、更に医療環境の変化の中で地域との関係を密にせずして病院の役割を果たせないとの認識からと聞いています。地域への貢献・連携・支援の前提には「信頼」がないと成り立たないと思います。今後は、高知病院の一員として患者さんは元より地域の皆様から“信頼され続ける病院”を目指して、微力ではありますが最善を尽くしたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

薬剤部長　大倉　裕祐

4月1日より薬剤部に赴任してまいりました大倉　裕祐（おおくら　ゆうすけ）と申します。岡山県北部にありました地元の国立療養所津山病院に就職してから、岡山県と鳥取県を行ったり来たりしていました。このたび瀬戸内海と四国山地を通り8施設目となる国立高知病院に配属となりました。鳥取では、松葉蟹・モサ海老などの水産物,梨・大栄町の西瓜・ラッキョなどの農産物を、また、地元の岡山では、清水白桃やアレキサンドリア（最近では、もも太郎という品種のマスカットが販売されています。）を食べてきました。高知では、新鮮なカツオなど地元の新鮮な食べ物を楽しみにしています。また、業務では微力ではございますが、7施設での経験を活かし地域の方々や病院経営に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

経営企画室長　島村　嘉人

4月1日付で経営企画室長として着任いたしました島村　嘉人（しまむら　よしひと）と申します。前任地は岡山医療センターで高知は初めての勤務地となります。以前より憧れていた病院で勤務ができることをとても嬉しく思います。

事務職としてより良い病院運営に貢献できるよう一所懸命に業務を行いますので皆様よろしくお願いいたします。

新医師紹介

総合診療部長　福田　昇司

平成28年4月1日より総合診療部長及び整形外科医長を拝命しました。高知医療センターに開院以来10年勤務しましたが、昨年に20数年ぶりに母校の徳島大学へ帰り、3月末まで診療ならびに学生や研修医の教育に携わってきました。高知での勤務はほぼ1年ぶりとなります。

大学では肩関節疾患の診療と研究に従事してきましたが、専門は関節疾患全般で、肩、膝関節の関節鏡手術を中心に行ってきました。関節鏡手術は小さな切開で行うため、体への負担が少なく、スポーツ選手の早期復帰を可能にするだけなく、中、高齢の患者さんにも有用です。また、重症の変形性関節症に対する人工関節置換術ではコンピューター支援により正確な手術を試みています。

整形外科医としてはや28年が過ぎましたが、その大半を高知で過ごし、高知の皆様に育てていただいたと、心から感謝しております。これまでの経験をもとにして、高知の皆様に充実した医療の提供をできるように尽力していきますので、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

婦人科科長　木下　宏実

4月から婦人科に勤務しています。前任地は高知医療センターです。

出身は徳島県です。平成10年に高知市立市民病院に赴任してから早いもので18年目の高知生活に突入しました。その間に家族の人数が増え、また子供が成長し県外に進学しまた人数が減りと人生の大きな変動期を高知で過ごしています。

阿波弁が混じった変な高知弁を話しておりますがご容赦ください。

専門領域は女性ヘルスケアーです。聞きなれないと思いますが、更年期障害や月経前緊張症などホルモン変動に伴う様々な疾患や女性のメンタルヘルスなどに対応して診療しております。また腹腔鏡下手術や婦人科悪性腫瘍手術なども行っており、今まで以上に患者さんの色々なニーズに対応できるのではと考えております。職場の雰囲気も良く早く慣れてお役に立てる様、頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

外科医師　花岡　潤

4月1日付で外科医師として着任いたしました、花岡　潤（はなおか　じゅん）と申します。前任は愛媛県立中央病院、消化器外科医長として勤務しておりました。肝胆膵外科、内視鏡外科を専門としております。出身は徳島県美馬市、出身大学は大阪医科大学を卒業し、徳島大学消化器移植外科に入局いたしました。高知県で勤務するのは今回が初めてとなり、慣れないことばかりで病院スタッフの方にはいつも優しく助けていただいて本当に助かっております。高知県では肝胆膵外科、内視鏡外科をはじめとする高難度手術は施行できる施設が限られておりますが、今後は微力ながら高難度手術が当院で完結できるように尽力させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

呼吸器内科医師　矢葺　洋平

4月1日より呼吸器内科にて勤務させていただいております矢葺　洋平（やぶき　ようへい）と申します。

和歌山県出身ですが、大学は徳島大学を卒業。その後、和歌山に帰り和歌山県立医科大学にて初期研修を終了しましたが、3年目からは再度徳島大学に戻り、呼吸器膠原病内科に入局。その後、高知赤十字病院に赴任し2年間勤務したのち、平成28年度からは当院にてお世話になることとなりました。

先述の通り、高知県にはすでに2年間住んでおり、ある程度慣れてきてはいたものの、未だに高知独時の方言や文化に戸惑ったりしております。一方で、魚を中心に食べ物が非常に美味しく、珍しい食材を見つけては購入するなど自分なりに高知生活をできるだけ満喫しようとしております。今後も高知の良い面を多く発見できればと思います。

未熟で至らぬ点が多いと思いますが、できるだけ地域に貢献できればと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

小児科レジデント　齊藤　志穂

本年4月1日から小児科に赴任しました齊藤　志穂（さいとう　しほ）と申します。

高知市出身で高知大学を卒業し、小児科志望であったため初期研修は香川小児病院（現在の四国こどもとおとなの医療センター）で行いました。その後は高知大学小児科に入局し、高知大学附属病院で勉強させて頂きました。

赴任が決まった時には新たな環境に行くのは不安でしたが、それぞれの施設の特徴があり、今までとは違う新たな環境にいくのは大切だと思いました。国立高知病院の小児科の一つの特徴として、重症心身障害児施設があります。私が初期研修を行った病院でも同じような施設があり、その時は何をどうしたらよいのかわからないことがほとんどでした。今回当院に赴任することになり、しっかりと対応できるよう勉強したいと思います。

まだまだ未熟であり、御迷惑を多々おかけするかもしれませんが、ここでできることを学んでいこうと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

消化器内科レジデント　山本　加奈子

4月より消化器内科に赴任して参りました山本　加奈子（やまもと　かなこ）と申します。

出身は徳島県東部に位置する小松島市です。香川大学を卒業し、徳島赤十字病院で初期研修医として2年間過ごした後、徳島大学消化器内科に入局しました。振り返ると、浪人時代に東京で過ごした1年以外は四国内をうろうろしています。

この度、前任の末内先生と交代で当院にやって参りましたが、医師としても消化器内科医としてもまだまだ未熟であり、胃カメラも大腸カメラも修行中です。外来でも病棟でも多々皆さまにご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、精一杯努力して参りますのでご指導をよろしくお願い致します。

高知には友人との旅行や部活の試合で訪れたことはあったのですが、住むのは初めてで、知り合いも少なく不安や寂しさを感じることもありますが、高知の魅力を沢山見つけていきたいと思っております。仁淀ブルーとよさこい祭りにすごく興味がある他は、景色や星を観たり、美味しいものを食べることが好きなのでオススメの場所や食べ物があれば教えていただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医　桑名　駿介

初めまして、4月からお世話になります研修医1年目の桑名駿介（くわな　しゅんすけ）と申します。よろしくお願いします。

高知県出身で、土佐塾高校、高知大学を卒業し、当院で研修医として勤めさせていただくこととなりました。大学では6年間バスケ部に所属していました。バスケ部で培った体力を活かして、何事にも全力で取り組みたいと思っています。

今のところ将来は小児科医として働きたいと思っていますが、今後の二年間でしっかりと考えを固めていきたいと思っています。

私は外科からのスタートで分からないことも多く不安でしたが、先生方の丁寧なご指導の下、充実した研修医生活を送っています。まだまだ至らぬ点が多いと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

臨床研修医　森田　崇継

初めまして、4月1日より初期臨床研修医としてお世話になっています、森田　崇継（もりた　たかつぐ）と申します。出身は高知県佐川町で今年の3月に高知大学を卒業しました。

高校が当院近くの学芸高校だったので、通学時はいつも前を通っていたのでまた朝倉にもどってくることができて嬉しく思っています。趣味はサッカー観戦と釣りです。サッカーは小学生の時から大学までやっていたので病院にサッカーやフットサルチームがあれば参加したく思っています。体を動かすことが好きなので、何かスポーツをやる機会があれば誘っていただけると嬉しいです。社会人としても、医療者としてもまだまだ未熟者で毎日多くの親切な先生方、医療スタッフの方々に助けてもらってばかりですが、早く仕事に慣れ、少しでも皆様の健康のお手伝いが出来るよう努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医　吉本　康高

はじめまして。4月1日より初期臨床研修医としてお世話になっております、吉本　康高（よしもと　やすたか）と申します。出身は高知県須崎市で、高校は高知追手前高校、大学は高知大学を卒業しました。

将来希望する診療科は精神科ですが、内科系や外科系の先生方をはじめ、患者さんに関わる多く方と密に連携をとれる精神科医になりたいと考えています。その為にまずは医師として求められる知識や技能、コミュニケーション力を身に着けたいと思っています。

高知病院は「国立病院」と呼ばれていた頃から僕自身も僕の家族も非常に馴染みのある病院です。5月までの2か月間は呼吸器内科で研修させていただいており、大学時代からお世話になっている指導医の先生をはじめ、多くの先生方やスタッフの皆さんにご指導して頂きながら非常に充実した毎日を送っております。医師としても社会人としても1年目でまだまだ未熟ですが、日々多くのことを学び、少しでもスタッフの皆様そして地域の皆様に貢献できるよう精進して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

新任職員紹介

副看護部長　松下　愛子

この度、4月1日付けで徳島病院より転勤して参りました副看護部長　松下　愛子（まつした　あいこ）と申します。出身は香川県高松市です。祖父が高知県人なので、幼少期に時々土讃線に乗り遊びに来ていました。美味しい魚を食べたり、珍しいものがある朝市に連れて行ってもらったり、桂浜では誰もいない早朝に行き五色石を拾い自分の宝箱に入れて大切にしていたことが思い出されます。このように高知県は私にとって郷愁をさそう場所でもあります。高知病院は、玄関の可愛い看板クジラやロビーの空を泳ぐクジラ、廊下に飾られた絵や中庭の木々など病院の中のあちらこちらに「ほっ」と気持ちが和む場所があります。初めて受診された方にも同じように感じていただければと思います。これからも地域の皆様に愛される病院となるよう、微力ではございますが誠心誠意努めて参ります。どうぞよろしくお願いします。

看護師長　西本　美香

4月1日より、地域連携室で看護師長として勤務となりました西本　美香（にしもと　みか）と申します。高知県出身で、以前は当院の手術室で副看護師長をしていました。高松医療センターに6年間勤務し、週末は高知と香川を往復していました。高松では、呼吸器・整形病棟を2年、中材・手術室に4年勤務しました。人数が少ない部署でしたのでスタッフとともに内視鏡や心カテ・手術介助の毎日でした。地域連携室は初めての部署で、手探り状態の毎日ですが、入院から患者様や家族とかかわり希望される支援が行えるように取り組んでいきたいと思います。経験不足で至らないことも多いと思いますが、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

看護師長　森下　八重美

4月1日付けで愛媛医療センターより転勤して参りました森下　八重美(もりした　やえみ)と申します。愛媛県の西予市の出身です。四国がんセンター、愛媛医療センターと愛媛の病院で勤務し、初めての県外勤務になります。趣味は温泉巡りと卓球です。昨年から子供も高知の中学校で卓球をしていて全国大会出場を目標に頑張っており、私の楽しみの一つでもあります。

病棟では電子カルテの経験がないため毎日パソコンの前で固まり苦労しておりますが、患者さん御家族との信頼関係を大切にし、患者さんの立場に立った看護が提供できるようにしていきたいと考えております。私のモットーは地道にコツコツです。いろいろ慣れるまではご迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願いします。

看護師長　若林　美代子

この度、愛媛医療センターから看護師長として昇任してきました、若林　美代子(わかばやし　みよこ)と申します。これまでの5年間は感染管理認定看護師の専従としての業務を行っていたため、初めての病棟管理、そして、初めての転勤となりました。今は、わからないことばかりで、毎日、病棟のスタッフはもちろん、院内の皆様にも助けていただきながら1日を終えている現状です。4階北病棟は急性期で入院期間も短い方が多いのですが、短い期間であっても、4階北病棟に入院してよかったと思っていただけるような病棟管理をしていきたいと考えています。そのために、これまで自分が育てていただいたように、スタッフのしたい看護を引出し実現できるように看護師長として支えていきたいと思っています。

これから、せっかく高知住民となったので、少し余裕ができたときにはいろんな高知を楽しみたいです。そして、数十年の愛媛生活で染みついている「○○やけん」から「○○しちょる」が、いつかすらっと口からでることも楽しみにしています。未熟な私ですが、よろしくお願いいたします。

庶務班長　田中　通弘

平成28年4月1日付けで庶務班長としてまいりました田中通弘(たなか　みちひろ)です。高知県で仕事をするのは初めてとなります。よろしくお願いいたします。

出身は香川県坂出市です。子どものころから三食は人の倍以上、それ以外でもうどんをたくさん食べてきたせいでしょうか、地球の重力をたくさん受ける体型を維持しております。高知県は美味しいものがたくさんあり非常に悩ましいところです。重力の影響が増加することのないようにしたいところですがかなり難しい気がしています。

高知病院に来て驚いたことは職員の皆様の仕事に対する姿勢、常に前向き、向上を目指す姿勢です。私自身管理課の仕事を初めて担当することが正直不安でありますが、そこは向上出来る範囲が多いと考え職員の皆様の姿勢を見習ってがんばる所存であります。何卒よろしくお願いします。

専門職　丸尾　芳光

このたび、医事専門職として赴任してまいりました、丸尾芳光(まるお　よしみつ)と申します。出身は香川県坂出市です。これまで愛媛県、香川県、広島県福山市で仕事をさせていただいて、高知県は初めての赴任となります。医事での勤務は本当に久しぶりとなりますが、採用していただいた時の気持ち、患者さんのために少しでもお役に立てるようにがんばるという気持ちを忘れずに職務に励んでいこうと思います。そして、高知県の方々一人一人との出会いを大切にし、いい思い出をいっぱい作りながら過ごせていけたら何よりです。

まだまだ不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、一日も早く慣れて、皆様のお役に立てるようにがんばっていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。少しでも多くの患者さんの笑顔を見られるようにがんばります。

外来係長　小松　信裕

4月1日付で外来係長として赴任しました、小松　信裕(こまつのぶひろ)と申します。

出身は高知県で、初任地もここ高知病院で長い間お世話になりました。その後、高知病院を離れて四国こどもとおとなの医療センターに転任しておりましたが、再び故郷の地に戻ってこれたことを嬉しく思います。

前任地では香川県ということもあり毎昼うどんを食べていたせいか、丸々とした体型になってしまいましたので一刻も早く健康的な体型に戻したいと思います。

以前お世話になった方達と再び仕事ができる喜びと安心、新しく出会う方々と共に仕事をしていく新鮮さを感じながら仕事に励み、体型だけではなく中身も成長していると感じてもらえるよう日々勉強していきます、どうぞよろしくお願いいたします。

経営企画係長　酒井　秀輝

このたび、4月1日付で企画課に赴任しました、酒井　秀輝（さかいひでき）と申します。出身は、高知市で、久しぶりに高知県で暮らすこととなり、非常に楽しみにしております。前任地は四国がんセンターで、採用より3年間勤務し、契約係や財務管理係を経験しました。今回、転勤により、また違った業務に就くこととなりましたので、初心に戻って、励んでいきたいと考えています。

病院が変われば、特徴も大きく変わるもので、新たに覚えることや、勉強になることも多く、日々新鮮な気持ちで過ごしています。高知病院の一員として、様々な側面で貢献できるように精進してまいります。

まだまだ未熟で、至らぬところが多々あるかと存じますが、精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

療育指導室長　村重　薫

この度の異動で転入して参りました村重　薫（むらしげ　かおる）と申します。待望の太平洋が臨める勤務地となり感激しています。

10回前後異動を経験しましたが、それぞれの勤務地では、実際にそこに行ってみないとわからない特徴があると感じています。回数を重ねたこともあり、異動に伴う不安感や切迫感を感じつつも、新任地の特徴に触れることを楽しんでおり、新鮮な感動を受けながら過ごしています。今回は、あふれんばかりの日差しや路面電車とマッチする町並み、また情熱的な県民性の一端に触れることができ早くもわくわく感がいっぱいです。

私はしゃべることが苦手でマイペースなので取っつきがわるく思われてしまうのですが、さらに言いたいことは言ってしまうという面も有りなかなかお友達ができにくいタイプです。こんな私ですが、4月1日以降部下の皆さんにはしっかり支えていただいており感謝しています。

頼もしい療育指導室スタッフとともに重症心身障害病棟及び通所の業務に取り組み、高知病院の運営に貢献していきたいと考えています。また、少し気恥ずかしいですが、太平洋のように広い視野に立ち、業務や高知での生活を楽しみたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

主任児童指導員　佐々木　智也

みなさん初めまして、4月1日より療育指導室主任児童指導員として赴任してきました佐々木　智也（ささき　ともや）です。前任地は、うどん県、いや香川県にあります四国こどもとおとなの医療センターでした。

出身地は、伊勢志摩サミットとして少しニュース等で取り上げはじめられた三重県になります。今までなかなかメジャーでなかった三重県がこれを機に、皆さんに位置を覚えてもらえるようになっていけばと願っています。

さて、話しがそれてしまいましたが、当院、高知病院の重症心身障害病棟の利用者さんを中心に日常生活の支援をさせて頂いています。長く病院での生活をされている利用者の方の人生がより充実したものになるようにまだまだ力不足ではありますが、少しでもお役に立てるように業務をおこなっていきたいと思います!!

また重症心身障害病棟を利用されている方はもちろんですが、高知病院を利用される皆様が、すこしでも高知病院が楽しいところとなれるように日々精進させていただきたいと思っています。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

新採用職員紹介

助産師　矢野　充規

はじめまして、この度4月1日より助産師として4階南病棟に勤務しております、矢野　充規（やの　みき）と申します。

出身は高知県幡多郡三原村です。高校までは自然しかない田舎で育ってきました。高校生の時に漠然と助産師になりたいと思い、当院附属看護学校に進学しました。当院で産科病棟への実習中に生命の誕生の神秘と家族の温かさを身近に感じ、助産師になりたいという思いが強くなり、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護助産学校助産学科に進学・卒業しました。助産師は新しい生命の誕生の瞬間に立ち会う責任のある職業です。私はまだまだ未熟ですが、産婦さんやご家族が安心して新しい生命を迎えられる環境を整えることができるように、先輩方や地域の皆様にご指導・ご助言をもらいながらこれから成長していきたいと思います。

私は1年間高知を離れていましたが、高知に帰ってくると自然の豊かさと皆様の温かさをとても懐かしく、改めて高知県の良さを実感し、毎日を楽しく過ごすことができています。

これからたくさんの事を学びながら精一杯努力していきます。どうぞよろしくお願いします。

看護師　山本　聖菜

4月1日より手術室で看護師として勤務させて頂いております山本　聖菜（やまもと　せいな）と申します。出身は須崎市です。高校卒業後、親元を離れ一人暮らしをしながら徳島文理大学で勉強に励んでまいりました。手術室は実習での経験がなく、初めは不安でいっぱいでしたが、優しく時に厳しく頼れるプリセプターの方や先輩看護師の方々が指導をしてくださるので日々充実しています。手術室では覚えることがたくさんありますが、日々の経験を通して知識や看護技術などを1つ1つ習得していきたいです。また、当院に来院して下さる患者さんの心に寄り添えるような看護師を目指し、成長していきたいです。

学生時代は、ダンス部で頑張っていました。これからも楽しく様々な活動に参加していきたいです。宜しくお願いします。

看護師　小舩　ゆい

はじめまして。4月1日より看護師として1階北病棟（重症心身障害児

(者)病棟)で勤務しております小舩　ゆい(こふね　ゆい)と申します。出身は高知市で、高知県立高知小津高等学校を卒業後、当院附属の看護学校で3年間を過ごしました。看護学校では実習中はもちろん、講義においても当院の医師や看護師、その他コメディカルの方々から熱い指導を頂き、看護を学んで参りました。卒業後は私の生まれ育った、ここ高知で看護を続けていきたいという思いもあり、当院に就職しました。

病棟では師長さんやプリセプターの方をはじめとした先輩看護師の皆さんがいつも優しく指導して下さっており、日々患者さんの笑顔を見るたびに看護に対する喜びを感じています。また重症心身障害児(者)病棟では在宅に帰ることが難しい患者さんもいらっしゃいます。そこで私は病院スタッフの方々と連携し、チーム一丸となって患者さんとその家族との間を支え、繋いでいくことのできる看護師を目指していきたいと考えております。まだまだ至らない所はありますが、これから宜しくお願い致します。

薬剤師　黒川　航多

はじめまして、この度4月1日より当院薬剤部に勤務させていただいております、黒川　航多(くろかわ　こうた)と申します。出身は愛媛県今治市です。出身大学は摂南大学で約6年ぶりに四国へ帰ってまいりました。

高知県へは学生時代に一度旅行に訪れたきりではありますが、その際に頂いたかつおのたたきをはじめとした食材のおいしさと各名所の雰囲気に感動したことを良く覚えており、高知県で働けることを大変嬉しく思っております。年々増加している体重に気を遣いつつ各地を巡れればと思っております。

薬剤師としてはまだわからないことばかりで右往左往しておりますが、先輩方から様々なことを学び、少しでも早く皆様の力になれるよう精進して参ります。

至らぬ点が多々あり、ご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

診療放射線技師　久保田　帆貴

はじめまして。この度4月1日より放射線科にて診療放射線技師として勤務させて頂いております、久保田　帆貴(くぼた　ほだか)と申します。出身は愛媛県新居浜市です。この春岐阜医療科学大学を卒業しました。高知県には数えるほどしか訪れたことがありませんでしたが、これを機会に高知県の観光名所を巡り、郷土料理を味わいたいと思います。

私は現在、一般撮影部門で先輩方の教えを受けながら、接遇とポジショニングを勉強しています。まだまだ、知識と勉強不足で患者さんを前にすると緊張してしまい、先輩に助けていただいている毎日です。早く仕事を安心して任せられる技師となり、地域の皆様のお役に立てるよう日々精進して参りたいと思います。ご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

臨床検査技師　青木　絵梨菜

はじめまして。4月1日より当院の臨床検査科で臨床検査技師として勤務させていただいております青木　絵梨菜(あおき　えりな)と申します。出身は愛媛県松山市で、岡山県の大学を卒業しました。

高知県に来るのは初めてで、右も左も分からない新しい地で新生活をスタートしました。さらに新社会人としての生活も加わり、初めて経験することばかりで不安もたくさんありましたが、皆さんの温かい人柄に安心しました。高知県に来たのも何かの縁があると思うので、仕事はもちろん、私生活でもいろいろなところを巡って高知での生活を充実させたいと思います。

これからは社会人であるという自覚をきちんと持ち、患者さんに信頼される立派な検査技師になるためにもたくさんのことを吸収して学び、早く一人前の検査技師になれるように日々努力していきたいと思います。まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

理学療法士　橋内　孝典

はじめまして。この度4月1日よりリハビリテーション科に理学療法士として勤務しています橋内　孝典(はしうち　たかのり)と申します。生まれは高知県高知市で須崎の病院にて5年間勤務し、この度当院で仕事をさせていただくことになりました。まだまだ未熟者で日々職場の皆様に助けられながら仕事に励んでいます。当院では今まで経験したことがないことも多く経験させていただき充実した日々が送れていると感じています。質の高い医療を提供し、患者様が安心してリハビリテーションを受けられるような理学療法士を目指していきたいと考えております。そのためには自己研鑽に励むだけでなく他部署の方々ともしっかりと連携を深めていく所存でありますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

職員係　松田　大輝

はじめまして、4月1日から事務部管理課職員係に配属になりました松田　大輝(まつだ　ひろき)と申します。

出身は高知県高知市で、大阪府の大学で4年間学び、この度高知県に帰ってまいりました。慣れ親しんだ高知県で社会人としての第一歩を踏み出せることを大変うれしく思っております。

病院機構の事務部は、民間の医療機関では対応しにくい病気の治療を扱っており、多くの患者様の支えになっています。そういった治療を行う医師、看護師はもちろんのこと、当病院で勤務する様々な方が安心して業務を遂行できるよう支えになるのが事務部の業務だと考えております。まだまだ未熟で至らぬ点も多いとは思いますが、なるべく早く仕事を覚えて、皆様の助けになっていければ、と考えております。

これからよろしくお願いします。

結核・抗酸菌症 登録エキスパートに認定されました

６階北病棟 副看護師長　牧村　恵美　　看護師　嵐　ようこ

皆さんは結核、非結核性抗酸菌症という病気をご存じでしょうか？

私達は22床の結核病床と20床の一般病床を持つ６階北病棟で勤務しています。結核の入院患者は、減少していますが、今も国内で年間約2万人が発生している重大な感染症です。かつては不治の病と恐れられていた結核も、優れた薬が開発されたことにより、現在は内服治療（標準治療6ヵ月～9か月）が出来れば治癒する病気です。副作用なく、内服継続が可能であれば外来治療に移行することが出来ます。しかし、結核を発症される方の多くが高齢者であり、スムーズに治療の継続が出来ないこともあります。いつの頃からか過去の病気と言われるようになった結核は風邪の症状と似ており、結核にかかったことに気づかず、認識の薄さから発見が遅れたり、また病気に対する正しい知識がないことによる誤解もあります。また非結核性抗酸菌症の多くは完治が難しいともいわれています。「病気と向き合い治療を受けられる患者様の力になれるよう専門的な最新の知識を得たい」という気持ちで、私たちは昨年度、長崎で行われた第90回日本結核病学会総会へ参加しました。その後同学会の結核・抗酸菌症　登録エキスパートへ申請を行い、平成28年3月に認定されました。

「結核・抗酸菌症　登録エキスパート」とは、結核および非結核性抗酸菌症の撲滅や患者の生活の質などの改善に努めることを目的として適切な医療を提供するために、抗酸菌症のチーム医療構成メンバーである看護師・保健師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師等の専門的知識と技術の向上をめざして、2014年に新設された資格です。

主な役割は結核や非結核性抗酸菌症の治療開始時期や治療薬の選択・外科治療の有無など個々に合わせたプログラムに沿ってチーム医療を提供していくことです。また抗酸菌症の早期発見や治療離脱率を低下させることも大事な役割のひとつとされています。

結核治療において服薬継続が重要です。入院中は看護師によるDOTS（直接服薬確認療法）を行い、退院前にはDOTSカンファレンスを開催し、退院後の服薬継続方法、支援者を確認し服薬継続に努めています。また年間4回のコホート検討会（保健所主催）に出席し、退院後の患者様の治療経過を確認しています。

「結核・抗酸菌症　登録エキスパート」として、まだまだ知識・経験も浅く、今後どのような形で活かしていけるのか模索中です。今後もより一層学びを深め、看護の質の向上に繋げていきたいと考えています。

これからも結核・抗酸菌症指導医である大串院長、畠山呼吸器センター長をはじめ、諸先生方のご指導のもと、治療チームメンバー間で情報共有しながら、個々の患者様に応じた適切なチーム医療を提供していけるように努力していきたいと思います。

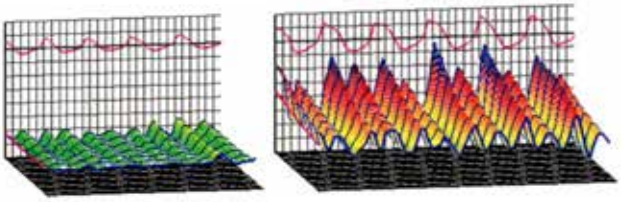
診療科紹介（アレルギー科）

MostGraphを導入しています

アレルギー科医長　町田　久典

アレルギー科では主に、気管支喘息の診療を中心に行っています。気管支喘息とは、肺へとつながる空気の通り道である気管支の炎症のため、気道が狭くなり、呼吸時の気道の空気抵抗が高くなるため、呼吸がしにくくなる病態です。この狭くなった気道を空気が出入りするときにヒューヒュー、ゼェーゼェーという喘ぎが聞こえるのです。しかし、このように気道の空気抵抗が高くなるなんて説明されてもよくイメージできないのではないでしょうか？そこで役立つのが今回ご紹介させていただくMostGrap（モストグラフ）です。

モストグラフは、今までの肺機能検査の装置と違って、努力呼吸（思いっきり力を込めて息を吐いたり、吸ったりする）を必要とせず、安静時の数回の呼吸を行うだけで測定できる検査です。しかもその結果は、これ今までの検査と異なり、数値の羅列ではなく、一目見て分かる、視覚で捕らえられるグラフでも示してくれるのでとても印象的です。図に示しているように、健常者と喘息状態（気道抵抗の状態）の違いがわかるので納得して頂けると思います。



健常者　　気管支喘息患者

この違いは治療によっても見ることが出来ますので、ご自身の治療成果を目で見ることができるのも、治療の励みにもなるものと考えています。気管支喘息で治療を受けている方や喘息ではないかしらなどと感じていらっしゃる方がいましたら、ぜひ当院の呼吸器内科・アレルギー科へご相談ください。

感染管理室だより

感染管理室　河村ひとみ

４月１日より、感染管理室に配属となりました副看護師長の河村ひとみです。

去年、神奈川県横浜市にある神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの感染管理認定看護師教育課程に入学し、５月から12月まで8か月間、660時間に及ぶ専門的な教育をうけました。在学中は、これまでの人生の中で最も勉強したと思うほど勉強をし、充実した学生生活をおくることができました。勉学に集中できる環境を作っていただいた高知病院の職員の皆様の助力・協力があったからであると深く感謝しています。

４月からは専従で勤務となり、院内感染対策チームのメンバーと共に病院全体の感染管理を総括するための活動を行っています。各部署の感染対策の確認や、現場からの相談、職員の職業感染防止対策などあらゆることに対応が必要ですが、自分の力量不足、知識不足を痛感する毎日で日々奮闘中です。

今年はインフルエンザの流行が例年より長引き、４月に入ってからも高知県では注意報が継続しています。当院職員にも、今季のインフルエンザ発症はこれまでに58名います。インフルエンザは発症の前日から発症後５日間はウィルス排出の可能性があると言われています。当院ではインフルエンザ発症があれば、職員は「発症後５日間かつ解熱後２日を経過するまで」就業を禁止していますし、患者さんであれば他の患者さんと部屋をわけるなどの対応を確認しないといけません。その他前日からの発症者との接触状況を確認し、感染拡大防止に努めなくてはなりません（医療者としての責務ですね）。自身だけでなく同居のご家族、入院患者さんにインフルエンザ発症があれば、速やかに感染管理室へ報告をお願いします。

栄養管理室だより

調理師長　小松　勇

特別メニューのご紹介

当院では、入院患者より食事に関して多様なニーズがあることに対応して、平成21年9月より整形外科病棟を中心に特別メニューを月1回実施しています。

特別メニューでは、毎回6人の調理師が交代制で、腕を振るっております。担当調理師は四季を大切にしながら和・洋・中・イタリアンなどの献立を作成し、開始当初から、入院中は、生活環境の変化からどうしてもストレスを溜めやすい患者さんのために、少しでも外出気分で楽しい時間と美味しい料理を味わっていただき、入院中の治療の励みになればと思い、患者さんのベッドサイドまで担当した調理師の笑顔と共にお届けしています。特別メニューを召し上がられた患者さんからは、季節感がある、料亭・レストランの料理のようである、美味しい等の良い評価をいただいております。

尚、この特別メニューについては常食の方のみの実施となります。特別メニューは、内容・金額が妥当であるとご理解とご同意を頂いたうえで、患者さんの自己負担により別に１食500円（税込）で提供させていただきます。ぜひ一度、当院の特別メニューを召し上がってみられませんか。

～ MENU ～

・海老とベーコンのグリル・青豆ソース
・春野産ちりめんと新ごぼうの和風パスタ
・新玉葱と蒸し鶏の梅風味サラダ
・果肉たっぷり小夏ゼリー
・ライス

４月22日の特別メニューでは、季節のえんどう豆、新玉葱、新ごぼうの春の香りと共にベットサイドへお届けしました。

～重心病棟の春の遠足～

当院では、毎年4月に行われる重心病棟の春の遠足では、重心病棟担当栄養士が皆さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら献立を考え、今年も愛情いっぱいの可愛らしいクマ弁当を作りました

医療安全管理室だより

医療安全への取り組み紹介

医療安全管理係長　山本　三恵

医療安全管理室係長4年目の山本です、よろしくお願いします。

医療安全の目指すところは、「医療現場におけるエラーを防ぎ事故を防止すること」です。人間は誰でも間違えるという特性を持っています。しかし間違いは防ぐことができます。そのために、間違いにくいシステムを構築することが重要とされています。

そこで、現在取り組んでいる「エラー防止のためのシステムつくり」を紹介します。

吸引器の誤接続ができないように工夫した事例です。

まず、吸引器というのは口や鼻、気管から痰や唾液を引く器械のことです。吸引器を病室の壁にある配管に接続することで陰圧をかけることができ、吸引が可能になる仕組みです。患者を吸引するためには、配管に接続する管と、患者を吸引する管の２本を接続しますが、管の接続時に誤って接続（写真１）するという事例が時々発生していました。

誤接続は、患者に直接の影響はないのですが、吸引物が配管に流れてしまうことで、配管が詰まり、病院全体の吸引が行えなくなる危険性があります。今までは、誤接続しても、吸引本体の管が詰まるのみで、配管までは到達していませんが、危険性は低くありません。そのため、予防策として、接続する部分の両端に色をつけ接続部分をわかりやすくする、吸引のボトルに「誤接続注意」という注意喚起を行うなど工夫を行ってきましたが、誤接続はなくならないのが現状でした。

人間には、「見たい物を見たいように見る。思い込む。」などの特性があり、着色や注意書きなどを行っても、最初は注意を払いますが、すぐに慣れてしまいます。このように人間の注意には限界があるため、誤って接続しようとしても、接続できないようにすることができないか業者と当院の臨床工学技師と共に検討を行いました。結果、吸引本体の２本の管のサイズを異なるように工夫（写真２）しました。改造した吸引器は４月18日から順次交換していく予定です。

インシデント報告書をみると、「注意して確認」との対応策がよく立てられています。確かに個人レベルの対応策もありますが、ほとんどの場合は、個人レベルではなく組織によるシステムの改良（今回紹介した事例のような）が必要です。インシデントを個人の反省でとどめず、物品やシステムの問題かも。。。と考え、まずは所属長にインシデント報告をお願いします。それが、安全への第一歩です。

写真１

写真２

看護学校だより

～第54期生が入学しました～

教員　谷内　典子

４月７日、第54回入学式が行われました。第54期生となる40名が本校の学生として新たな一歩を踏み出しました。入学生を迎えるにあたり、始業早々に在校生が準備を行いました。２年生が中心となり、心をこめて、祝電ボードや控室のホワイトボードに新入生を迎える喜びを表しました。

入学式では大串文隆学校長の式辞の後、来賓の尾﨑知事（代理鎌倉昭浩健康政策部副部長）、宮井千恵高知県看護協会会長からのご祝辞をいただきました。また、実習病院等々の各施設から多くの祝電もいただきました。

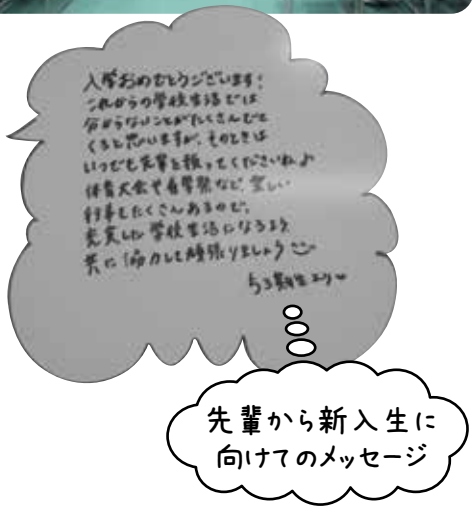
新入生代表の小橋沙季さんから「このたび独立行政法人国立病院機構高知病院附属看護学校第54期生として入学を許可されました。私達は看護学生の規則を守り学業に誠実に励み特性をみがき学生の本分に努力することをここに宣言します」と力強い宣誓がありました。当日は30分ほどの短いリハーサルを行い式に臨みましたが、新入生は号令なしでの起立や礼などタイミング良く行えており、前途洋々の３年間のスタートがきれたように感じました。未来に向けてこれから新しい学習、新しい経験、新しい友人、講師や指導者、教職員との関わりが始まります。新入生が自分の力を出して学習に励み、看護の喜びを感じることができるよう教職員一同精一杯支援していきたいと思います。

２年生が作成した祝電ボート

リハーサルの様子

控室の装飾

先輩から新入生に向けてのメッセージ



地域医療連携室だより

地域医療連携室　看護師長　秋森　容子

地域包括ケアシステムを見据えた診療報酬の改定へ対応や新年度になって新任の看護師長への引き継ぎ、挨拶回り等であっという間に季節は過ぎ、山々は新緑に彩られ気持ちの良い気候になりました。地域医療連携室では、3月に新任の医療ソーシャルワーカー鈴木奈美さん、4月には西本美香看護師長さんを迎えました。地域包括ケアシステムの中で当院の役割を発揮し、退院支援、在宅移行支援を強化するためには地域の医療機関、介護事業所や介護福祉施設、行政の方々との連携はとても重要です。6月までの期間ですが新しい看護師長に十分引継ぎの時間が持てたことは良かったと思っています。

さて、熊本、大分では地震が頻発し、亡くなられたり被災された方々の多さに言葉もありません。南海、東南海地震の発生が予期されている高知県に住む私達にも他人ごとではなく報道を見ながら何かできることはないかと自問する毎日です。

また、高知で震災が起きた時に地域医療連携室ができることは、患者さんが治療を受けることができる病院を探したり広域搬送の手配をすること、被災者の方々への相談員としての対応かと考えています。他県の医療機関の状況等あらかじめ情報収集も必要ですが災害発生時には国立病院機構のネットワークは大きな助けになるのではないかと思います。

中国四国グループ内
退院調整看護師育成研修会に参加して

地域医療連携室看護師　森本　朋代

平成27年度中国四国グループ内退院調整看護師育成研修会に参加させていただきました。

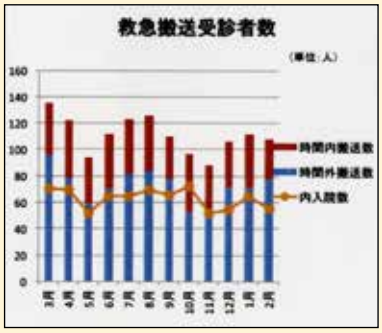
講義では、退院調整に関しての基本的な知識の退院支援・退院調整とはから始まり、退院調整看護師の役割と機能、カンファレンスについて、社会資源について学びました。講義やケース教材を用いてグループ討議を通して、退院調整の実際事例を基に検討することで、今後の方向性について考えることができました。

臨地実習において、病院実習では、1名の患者とじっくり関わり退院調整を行い、ケースについてのレポートを作成し振り返りを行い、様々な方向性から考え、日ごろの調整で行き届いていなかった点などを見出すことができよい学びとなりました。見学実習は、居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションで行いました。患者・家族が様々な問題を抱えながらも、多様なサービスを利用し、その人らしく生活している姿を目の当たりにし感動し、地域の医療介護を担っている方々の力を実感させられました。

地域包括ケアシステムが構築される2025年までのこれからの約10年。他職種・他機関の連携が成功の鍵であると篠田講師は述べていました。見学実習をさせていただいた施設の方々も連携関係が重要でありそれによってサービス調整が成り立っていると話されていました。在宅ケアは、入院医療の延長線上と位置付けられています。退院調整では、それぞれの専門性を発揮し、地域とのネットワークを広げていくことが必要とされています。地域医療連携室看護師として、病院と地域との橋渡し役として、積極的にカンファレンスなどを行い、患者の情報共有を行いながら、同時に院内スタッフへも退院支援の意識づけや支援力を高める働きかけをし、地域との関係性を築いていきたいと思います。

「病院完結から地域完結へ」、帰せないではなく、どうやったら帰れるのか、本人の意向と家族の意向・生活を考えながら、不必要な入院を避けるためにも安定した療養環境を整え、住み慣れた在宅へ帰れる支援を今後の課題として退院支援を行っていきたいと考えています。

○高知病院地域連携等概況



職員の異動

1月2日付～4月1日付の人事異動（常勤）

退　職

▶H28.1.31

看護師	坂東　穂美

▶H28.2.17

看護師	市川　恵理

▶H28.3.31

副院長	篠原　一仁
消化器内科医師	末内　辰尚
外科医師	小笠原　卓
呼吸器外科医師	宇山　　攻
小児科医師	長尾　佳樹
呼吸器内科医師	髙橋　直希
呼吸器外科レジデント	坂本　晋一
臨床研修医	松本　大昌
臨床研修医	山本麻梨乃
臨床研修医	西垣　　厚
臨床研修医	梶山　泰平
診療放射線技師	新開　千真
理学療法士	加嶋　憲作
看護師長	藤籔　令子
副看護師長	原　　昭恵
副看護師長	森山　由貴
看護師	山﨑　節子
看護師	大堀友里恵
看護師	神毛美由紀
看護師	吉田　里沙
看護師	太田　　海
看護師	望月裕見子
事務部長	大西　寛征
庶務班長	山下　淳子
車庫長	髙田　英司
療育指導室長	中島　由博
教員	曽根　美沙

転　出

▶H28.4.1

薬剤部長	林　　武文
薬剤師	久保　泰地
薬剤師	森木　智子
薬剤師	氏原　弘洋
医化学主任	香川　洋子
副看護部長	樋口　智津
看護師長	山根　朱美
副看護師長	明﨑　祐子
副看護師長	濵口かおり
看護師	山岡　佳哉
経営企画室長	三田　高志
専門職	高杉　佳篤
経営企画係長	玉井　　笑
外来係長	林　由紀子
児童指導員	徳山　純一

採　用

▶H28.4.1

副院長	先山　正二
総合診療部長	福田　昇司
婦人科医長	木下　宏実
外科医師	花岡　　潤
呼吸器内科医師	矢葺　洋平
呼吸器外科医師	坂本　晋一
小児科レジデント	齊藤　志穂
消化器内科レジデント	山本加奈子
呼吸器外科レジデント	松本　大昌
臨床研修医	吉本　康高
臨床研修医	桑名　駿介
臨床研修医	森田　崇継
薬剤師	津郷　佑規
薬剤師	黒川　航多
臨床検査技師	青木絵梨菜
理学療法士	橋内　孝典
診療放射線技師	久保田帆貴
看護師	橋本　梨沙
看護師	田村　聡果
看護師	川上　直哉
看護師	小舩　ゆい
看護師	井上　琴絵
看護師	小島　岳生
看護師	濵田　萌瑠
看護師	高橋　美幸
助産師	田中　有貴
助産師	矢野　充規
看護師	吉村　　彩
看護師	山中　　萌
看護師	篠原万里栄
看護師	水口　加菜
看護師	竹村　美紅
看護師	瀬尾　優子
看護師	大野　美咲
看護師	渡邉　沙紀
看護師	森田　彩文
看護師	高橋　佐恵
看護師	濵口　　愛
看護師	野本　実花
看護師	上田　麻弥
看護師	遠山　綾音
看護師	山本　聖菜
看護師	竹埜美奈穂
看護師	細木　飛鳥
看護師	徳廣　真弓
一般職員（職員係）	松田　大輝

転　入

▶H28.3.31

看護師	檜垣　千尋

▶H28.4.1

薬剤部長	大倉　裕祐
薬剤師	西川　祐貴
副看護部長	松下　愛子
看護師長	西本　美香
看護師長	森下八重美
看護師長	若林美代子
事務部長	山田　茂晴
経営企画室長	島村　嘉人
庶務班長	田中　通弘
専門職	丸尾　芳光
経営企画係長	酒井　秀輝
外来係長	小松　信裕
療育指導室長	村重　　薫
主任児童指導員	佐々木智也

勤務延長

▶H28.3.31

統括診療部長	井上　修志

再雇用

▶H28.4.1

自動車運転手	髙田　英司

昇　任

▶H28.4.1

副看護師長	水野　弘美
副看護師長	浜田　裕理
副看護師長	日高　亜矢
教員	弘松　洋美

外来診療担当医表

（平成28年５月１日現在）

■受付時間　8：30～11：00
整形外科　火曜日は予約患者のみの診察になります。
（新患、予約のない方は原則診察できません）

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～１月３日

国立病院機構のシンボルマーク
独立行政法人
国立病院機構 高知病院
〒780-8077　高知県高知市朝倉西町１丁目２番25号
TEL（088）844-3111　FAX（088）843-6385
http://www.hosp.go.jp./~kochihp
高知病院のシンボルマーク

診療科	区分・診察室番号			月	火	水	木	金
内科	午前	1診	⑫	門田･町田（隔週）	内藤･岡野（隔週）	井上･今西（隔週）	岡田･篠原（隔週）	畠山･矢葺（隔週）
		特別外来	⑪	松森（糖尿病）	岩原（血液）	松森（糖尿病）	岩原（内科）	松森（糖尿病）
	午後	専門外来				化学物質過敏症（予約制）		
神経内科			⑰	不定期（院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。）				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診	⑧	篠原　勉	大串　文隆	畠山　暢生	大串　文隆（紹介のみ）	岡野　義夫
		2診	⑥			田岡　隆成	町田　久典	篠原　勉
		3診	⑫					門田　直樹
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:30（予約制）	
消化器内科	午前		⑨	井上・山本	岡田　泰行	板垣　達三	井上　修志	板垣　達三
循環器内科	午前		⑦	山﨑　隆志	西村　直己		山﨑　隆志	
	午後	専門外来					ペースメーカー（第2木曜）	
リウマチ科			⑩	松森　昭憲 （糖尿病も診察）		大串　文隆 （予約のみ）		松森　昭憲 （糖尿病も診察）
小児科	午前	1診	①	武市　知己	大石　尚文	武市　知己	小倉　英郎	大石　尚文
		2診	②	大石　尚文			武市　知己	高橋　芳夫
		3診	③		井上　和男	井上　和男	井上　和男	小倉由紀子
	午後	専門外来		神経・アレルギー （第2月曜医大循環器）	アレルギー 循環器	乳児健診	アレルギー NICUフォローアップ	神経・内分泌・腎臓 乳児検診
		予防接種		14:00～15:00 （予約制）	14:00～15:00 （予約制）	14:00～15:00 （予約制）	14:00～15:00 （予約制）	14:00～15:00 （予約制）
外科	午前		⑤	大塚　敏広	福山　充俊 （乳がん検診も実施）	山崎　誠司	福山　充俊 （乳がん検診も実施）	花岡　潤
	午後	専門外来			福山（乳腺外来）		日野・福山	
				大塚（胃ろう・ヘルニア外来）			乳腺外来	
整形外科	午前		①	福田　昇司		小林　亨	福田　昇司	合田　有一郎
	午後			骨粗鬆症（予約制） 13:00～15:00			田村　竜也	
脳神経外科	午前	1診	⑧	非常勤 10:00～	中城　登仁	中城　登仁	中城　登仁	中城　登仁
呼吸器外科	午前		⑦		先山　正二		先山　正二	
					日野　弘之		日野　弘之	
小児外科	午前		⑤					
皮膚科	午前		⑬	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾
泌尿器科	午前		⑨	渡邊　裕修	笠原高太郎	渡邊（奇数週） 大河内（偶数週）	笠原高太郎	渡邊　裕修
産科	午前		㉟	滝川　稚也	福家　義雄	福家　義雄	小林　文子	予約制
	午後			小林（超音波外来・予約制）				
婦人科	午前		㉛	木下　宏実	小林　文子（完全予約制）	木下　宏実	滝川　稚也	木下　宏実
				原田　裕子				
	午後			福家（紹介患者・予約制）				思春期外来
眼科	午前		㉓	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑯	岩﨑・中野	岩﨑・中野	岩﨑・中野	岩﨑・中野	岩﨑・中野
	午後							
リハビリテーション科								
放射線科				小松　幸久	塩田　博文	小松　幸久	塩田　博文	小松　幸久

※内科の１診は、月曜日から金曜日まで全て、医師１名担当の交代制となっています。
※市町村発行のクーポン券を利用される乳ガン検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。

来て 見て 知ろう 地域の病院

健康フェスタ 2016

日　時　平成28年 5月14日（土） 10:00～15:00

場　所　独立行政法人国立病院機構高知病院

オープニング

華男衆によるよさこい踊り

吹奏楽の競演

高知学芸中学・高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏

朝倉中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏

体験コーナー

- アロママッサージ体験 〔10:15～15:00〕
- 手術室見学ツアー 〔10:20～14:30〕
- 手洗い体験 〔10:15～15:00〕
- 救急処置法・AED体験 〔10:15～15:00〕
- 妊婦・高齢者体験 〔10:15～15:00〕
- 検査データ説明コーナー 〔10:15～14:30〕
  骨密度検査・肺年齢検査
- お菓子で調剤体験 〔10:15～15:00〕
- 自転車シュミレーター（高知県警察） 〔10:15～15:00〕
- 認知機能検査 〔10:15～15:00〕
- 運動機能検査・ホームエクササイズ 〔10:15～15:00〕
- 検査コーナー 〔10:15～14:30〕
  ミクロの世界にようこそ（顕微鏡コーナー）

健康相談コーナー

〔10:15～14:30〕

- 健康相談
  医師、薬剤師、看護師、管理栄養士
- 栄養相談
  特定保健用食品等のサンプル展示、配布

こどもコーナー

〔10:15～15:00〕

- キッズコーナー・
  作って遊ぼう・紙芝居など
- 未来のドクター、ナース

展示コーナー

〔10:00～15:00〕

- DMAT車両
- 救急車（高知市消防局）
- パトカー・白バイ（高知南警察署）

パネル展示

〔10:00～15:00〕

- 看護の日
- 放射線検査と機器紹介
- DMAT活動

赤ちゃんコーナー

〔10:30～11:30〕〔13:00～14:00〕

- ベビーマッサージ
  生後３カ月～１歳対象

スタンプラリー

- フランクフルト、アイスクリン（景品）

販売コーナー

〔10:00～15:00〕

- 餅つき、農産物等販売
  （JA高知市朝倉支所女性部、青壮年部）
- 手作り作品の展示販売
  （高知大学教育学部附属特別支援学校）
- ショップ花時計（観葉植物、加工品販売）
  （高知県立春野高校）

連絡先：国立病院機構高知病院
http://www.kochihp.com/
管理課 三河（みかわ）
TEL.088-844-3111

市民公開講座

1F 外来待合
〔11:00～12:00〕

テーマ「意外と身近にあるがんのお話」

11:00～11:05 大串院長あいさつ

司会　副　院　長　先山　正二

講師　呼吸器副センター長　日野　弘之
11:05～11:30「気をつけよう！肺がん」

婦人科科長　木下　宏実
11:30～12:00「子宮体がんが増えてきている」

寸劇

防犯特捜マモルマン（高知県警察）
12:30～